

評価報告概要表

■第三者評価機関

名 称	社会福祉法人 山口県社会福祉協議会
評価調査日	令和 3年 11月 9日 (火)

■福祉サービス事業者情報

名 称	はあと保育園新山口	種 別	保育所
代表者氏名	施設長 西 嶋 直 子	開設年月日	平成26年4月1日
設置者	社会福祉法人 青藍会	定員(利用人数)	120名(129名)
所在地	〒754-0020 山口市小郡平成町1-20		
電話番号	083-976-2460	FAX番号	083-976-2477
ホームページアドレス	http://www.seirankai.or.jp		

■総 評

全体を通して(事業所の優れている点、独自に工夫している点など)

◇特に評価の高い点

- ・オープンスペースという施設の特徴を活かして、子どもが安心かつ主体的に活動できる環境構成の整備に努めている。遊ぶスペースと食事スペースを分け、必要に応じてロールカーテンで刺激を遮断する等の工夫をしながら子どもが集中して遊び込むことのできる環境づくりを心がけている。
- ・調理室が見渡せるランチルームが整備され、子どもたちが食事作りを身近に感じられるよう工夫されている。定期的実施しているクッキング活動に栄養士が積極的に関わり、多職種連携による保育が実践されている。
- ・看護師の配置によって子どもに対するきめ細やかな健康管理が行われ、現場の保育士が子どもの体調等について気軽に相談できる体制が整っている。
- ・保育活動専門員の行う子育て相談は、保護者にとって子育ての悩みを打ち明ける貴重な場となっていると同時に、虐待の早期発見・対応の初動及び予防に貢献している。

◇改善を求められる点

- ・理念や基本方針の実現に向け具体的に取り組むための、中・長期的な事業計画の策定が求められる。園の単年度事業計画が法人全体の、中・長期的な事業計画の達成に向けたステップとして策定され、年度ごとに見直されることが中・長期計画の更新につながるといった好循環が期待される。

■第三者評価結果に対する事業者のコメント・事業所のPR

2回目の受審となります。自己評価をすることで、運営・業務の振り返りをする良い機会となりました。また、評価結果を受け、更なる保育環境の充実・保育の質向上・保護者支援の充実・園児の健康管理体制の向上に努めると共に、今後の運営に対する業務改善、中・長期的な事業計画の策定を行っていくと考えております。

地域に根ざした開かれた保育園として地域貢献に努め、今後も園児・保護者に信頼される保育園を目指していきます。

評価報告概要表

■評価分野別評価結果(分野別の特記事項)

I 福祉サービスの基本方針と組織	a	6	b	1	c	2	Na	0
<p>法人の理念、基本方針はホームページや総合パンフレット、利用のしおりに掲載され、周知に努めている。職員ハンドブックによる定期的な習熟度チェックの体制を整え、職員に対しての周知徹底も図っている。経営状況等の把握については、法人本部を主体とした経営を取り巻く環境や課題の分析が的確に実施されており、その結果を施設長が職員に周知徹底している。事業計画は、保育内容の充実に重点を置きつつ、関係職員の参画、意見の集約により策定されている点は評価できるが、理念や基本方針の実現に向けて具体的に取り組むためには中・長期的な事業計画が求められる。過去の第三者評価の受審結果を踏まえて定期的な自己評価を実施し、職員会議や職員面談の機会に取り組むべき課題を明確にしながら組織的に取り組みを進めている点は高く評価できる。</p>								

II 組織の運営管理	a	18	b	0	c	0	Na	0
<p>施設長の役割が事務分掌、会議資料、危機管理マニュアルに明記されており、職員会議等で自らの役割や責任を職員に表明している。施設長は毎日各クラスの保育に入りながら職員の意見を聴き、面談時に指導助言を行う等、職員の育成に指導力を発揮している。また、法人管理部門との協議により人事・労務・財務の分析を踏まえながら、利用者の状況に応じて丁寧に関わることのできる職員体制の構築を図ることに尽力している。職員の質の向上に向けた取り組みとしては、職員が希望する研修内容や、保護者が職員に受講してほしい研修を把握するためのアンケート調査を実施し、それらを研修計画の立案に活かしている点は高く評価できる。ISO9001の導入により、適正な経営・運営のための継続的改善を推進する仕組みが構築されている。コロナ禍で制限はあるものの、各事業所が有する機能を地域に還元できるよう、法人全体で地域との交流や地域貢献に取り組んでいる。</p>								

III 適切な福祉サービスの実施	a	17	b	1	c	0	Na	0
<p>利用のしおり、重要事項説明書には利用者を尊重したサービス提供について、全国保育士倫理綱領を念頭に保育にあたることが明示されている。業務手順書には、排泄介助等でのプライバシー保護や羞恥心への配慮、人としての尊厳について記載されており、職員会議等において具体的な事例を取り上げて理解を深めるよう取り組んでいる。利用者満足の向上については、保護者の意向アンケートを実施し、それらを個別計画に反映させている。また、保護者からの要望や意見に対して検討・改善した内容を掲示することに加え、送迎時等対面した時に積極的に保護者とコミュニケーションを取る姿勢も評価できる。安心・安全な福祉サービスの提供に関しては、医療機関との連携体制が確立されていること、看護師の配置があること等、組織として緊急時の子どもの安全確保対策が充実している。</p>								

IV 良質な個別サービスの実施	a	20	b	0	c	0	Na	0
<p>施設内はオープンスペースとなっており、開放的な空間で採光や換気、室温にも配慮され清潔に保たれている。保育室は遊びと食事のスペースに分けられており、子どもが安全かつ主体的に活動できる環境構成の整備に努めている。看護師の配置によって、緊急時の対応はもちろん保健・衛生に関する環境を整備する上では大きな強みとなっている。現場の保育士が子どもの体調等について気軽に相談できる体制であることも高く評価できる。調理室の様子が見渡せるランチルームが整備されており、子どもたちが食事作りを身近に感じられるよう工夫されていることや、栄養士を中心としたクッキング活動を実施しており、食育にも力を入れている。家庭との連携については、紙面やSNS上だけでなく、送迎時の対話等で直接コミュニケーションをとることで保護者との信頼関係を築いている。保育活動専門員の行う子育て相談は、保護者にとって子育ての悩みを打ち明ける貴重な場となっていると同時に、虐待の早期発見・対応の初動及び予防に貢献している。</p>								

第三者評価結果表

施設名 はあと保育園新山口

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

【 評価項目 】		a	b	c	Na
1 理念・基本方針					
(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。					
1	1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	○			
<p>(特に評価が高い点) 法人の理念、基本方針はホームページや総合パンフレット、利用者と家族に向けた利用のしおりに掲載されており、その周知に努めている。職員には、職員ハンドブックに「法人の理念」の理解を盛り込み、確認テストといった定期的な習熟度チェックの仕組みを整え、周知の徹底を図っている。 (改善が求められる点) 特になし</p>					
2 経営状況の把握					
(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。					
2	1 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	○			
3	2 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	○			
<p>(特に評価が高い点) 法人本部を主体とした経営を取り巻く環境や課題の分析が的確に実施されている。その結果を施設長が把握し、職員会議において職員に周知徹底している。人員配置等職員から出た経営上の課題に関する意見を、施設長が法人本部に伝えるといった取り組みもなされている。 (改善が求められる点) 特になし</p>					
3 事業計画の策定					
(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。					
4	1 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。			○	
5	2 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。			○	
(2) 事業計画が適切に策定されている。					
6	1 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	○			
7	2 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。		○		
<p>(特に評価が高い点) 事業計画が関係職員の参画、意見の集約により策定されている。また、保育内容の充実に重点を置いて策定されている点も評価できる。 (改善が求められる点) 理念や基本方針の実現に向けて具体的に取り組むために、中・長期的な事業計画の策定が求められる。事業所の単年度事業計画が、法人全体の中・長期的な事業計画・収支計画の達成に向けたステップとして策定されることが必要であると考えられる。またそれが年度毎に見直されることによって、中・長期計画の見直しにもつながるといった好循環の構築が期待される。</p>					

【 評価項目 】		a	b	c	Na
4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組					
(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。					
8	1 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	○			
9	2 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	○			
<p>(特に評価が高い点) 第三者評価の受審結果を踏まえて定期的な自己評価を実施し、職員会議や職員面談の機会を取り組むべき課題を明確にしながら組織的に取り組みを進めている。</p> <p>(改善が求められる点) 抽出された課題のうち単年度で解決することが難しい課題については、中・長期的な視点により計画的に取り組むことが望まれる。こうした課題の解決を盛り込む中・長期計画の策定が課題である。</p>					

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

1 管理者の責任とリーダーシップ					
(1) 管理者の責任が明確にされている。					
10	1 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	○			
11	2 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	○			
(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。					
12	1 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	○			
13	2 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	○			
<p>(特に評価が高い点) 法人管理部門との協議により人事労務財務等の分析を踏まえながら、利用者の状況に応じて、丁寧に関わることのできる職員体制の構築を図るなど、健全な経営と保育の質の向上とが両立できるよう努めている。</p> <p>(改善が求められる点) より良い福祉サービスの提供に向けて福祉分野関連法令の把握と職員への周知に努めていることは確認できたが、今後はその他の遵守すべき法令等についても職員の理解を促す具体的な取り組みが期待される。</p>					

2 福祉人材の確保・養成					
(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。					
14	1 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	○			
15	2 総合的な人事管理が行われている。	○			
(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。					
16	1 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	○			

【 評価項目 】		a	b	c	Na
(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。					
17	1 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	○			
18	2 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	○			
19	3 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	○			
(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている					
20	1 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	○			
<p>(特に評価が高い点) 職員が希望する研修内容や、保護者が職員に受講してほしい研修を把握するためのアンケート調査を実施し、それらを研修計画の立案に活かす取り組みを実施していることは高く評価できる。また、基礎研修に加えフォローアップ研修や個別のメンター制度により、新入職員の育成が手厚く行われている。</p> <p>(改善が求められる点) 実習生の指導を担当する指導者に向けた研修を実施することで、実習生受入れ体制のさらなる充実が期待される。</p>					

3 運営の透明性の確保					
(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。					
21	1 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	○			
22	2 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	○			
<p>(特に評価が高い点) 法人全ての財務諸表がホームページで公表されており、保育園部門だけでなく法人全体の安定性が可視化されている。また、ISO9001の導入により継続的な改善を推進する仕組みを構築していることも公表されており、適正な経営・運営に向けて積極的に取り組まれている。</p> <p>(改善が求められる点) 特になし</p>					

4 地域との交流、地域貢献					
(1) 地域との関係が適切に確保されている。					
23	1 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	○			
24	2 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	○			
(2) 関係機関との連携が確保されている。					
25	1 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	○			

【 評価項目 】		a	b	c	Na
(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。					
26	1 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	○			
27	2 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	○			
(特に評価が高い点) 「はあとカフェ」の定期的な開催や、「ハートホーム新山口ベースキャンプ」の展開など、各事業所が有する機能を地域に還元できるよう、法人全体で積極的に取り組んでいる。 (改善が求められる点) 特になし					

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

1 利用者本位の福祉サービス

(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。

28	1 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	○			
29	2 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	○			

(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。

30	1 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	○			
31	2 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	○			
32	3 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。		○		

(3) 利用者満足の向上に努めている。

33	1 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	○			
----	-----------------------------------	---	--	--	--

(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。

34	1 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	○			
35	2 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	○			
36	3 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	○			

【 評価項目 】		a	b	c	Na
(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。					
37	1 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	○			
38	2 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	○			
39	3 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	○			
<p>(特に評価が高い点) 医療機関との連携体制が確立されていることや、看護師の配置があることなど、緊急時の子どもの安全確保対策が充実していることは大きな強みである。 (改善が求められる点) 特になし</p>					

2 福祉サービスの質の確保					
(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。					
40	1 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	○			
41	2 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	○			
(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。					
42	1 アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。	○			
43	2 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	○			
(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。					
44	1 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	○			
45	2 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	○			
<p>(特に評価が高い点) 業務手順書が整備され、全職員が保育を実施するにあたっての指針となっている。施設長、主任保育士の指導・助言のもと、保育計画の見直しが都度行われていることも評価できる。 (改善が求められる点) 特になし</p>					

IV 良質な個別サービスの実施(保育所)

【 評価項目 】				a	b	c	Na
A-1 保育内容							
(1) 全体的な計画の編成							
1	1	保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じた全体的な計画を作成している。		○			
(特に評価が高い点) 園の保育方針に基づき、職員全体で計画の作成に取り組んでいる。 (改善が求められる点) 特になし							

(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開							
2	1	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。		○			
3	2	一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。		○			
4	3	子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。		○			
5	4	子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。		○			
6	5	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。		○			
7	6	3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。		○			
8	7	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。		○			
9	8	障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。		○			
10	9	それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。		○			
11	10	小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。		○			
(特に評価が高い点) オープンスペースという施設の特徴をメリットとして捉え、子どもが安全かつ主体的に活動できる環境構成の整備に努めている。 (改善が求められる点) オープンスペースという特徴は、明確な空間の区切りがないことで子どもの集中が途切れることもあるという声をヒアリング時に聞いた。今後は、子どもがより主体的かつ集中して遊びや活動に取り組むことのできる環境構成の工夫が期待される。							

【 評価項目 】			a	b	c	Na
----------	--	--	---	---	---	----

(3) 健康管理						
12	1	子どもの健康管理を適切に行っている。	○			
13	2	健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している。	○			
14	3	アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	○			
<p>(特に評価が高い点) 看護師が配置されていることによって、緊急時の対応はもちろん保健・衛生に関する環境を整備する上では大きな強みとなっている。現場の保育士が子どもの体調等について気軽に相談できる体制であることも高く評価できる。 (改善が求められる点) 特になし</p>						

(4) 食事						
15	1	食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	○			
16	2	子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	○			
<p>(特に評価が高い点) 調理室の様子が見渡せるランチルームが整備されており、子どもたちが食事づくりを身近に感じられるよう工夫されている。また、そのスペースを活用して子どもたちがクッキング活動を体験するなど、整備した環境を活かす取り組みがなされている。さらに、その日の献立を展示し、保護者が子どもたちの食事を視覚的に確認できるよう配慮されている。 (改善が求められる点) 特になし</p>						

A-2 子育て支援						
(1) 家庭との緊密な連携						
17	1	子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	○			
<p>(特に評価が高い点) 紙面やSNS上だけでなく、送迎時の対話等で直接コミュニケーションを取ることで保護者との信頼関係を築いている。 (改善が求められる点) 特になし</p>						

【 評価項目 】		a	b	c	Na
----------	--	---	---	---	----

(2) 保護者等の支援						
18	1	保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	○			
19	2	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	○			
<p>(特に評価が高い点) 保育活動専門員の行う子育て相談は、保護者にとって子育ての悩みを打ち明ける貴重な場となっていることがうかがえる。また、虐待の早期発見・対応の初動及び予防に貢献していることも評価できる。 (改善が求められる点) 特になし</p>						

A-3 保育の質の向上						
(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)						
20	1	保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	○			
<p>(特に評価が高い点) 施設長、主任保育士のリーダーシップのもと、保育実践の振り返りが行われている。 (改善が求められる点) 保育士としての専門性を意識し、一人ひとりが保育実践を振り返る際に言語化する力を磨き、それを日誌等の記録に反映させられるようになると、振り返りの際の貴重な資料となると思われる。</p>						